2026年
4月

草の根

BULLETIN OF THE AICHI COUNCIL AGAINST A&H BOMBS

発行 原水爆禁止愛知県協議会
発行人 佐竹康行
〒461-0004
名古屋市東区葵1-22-26
Tel(052)932-3219
Fax(052)931-2651
gensuikyo@lime.ocn.ne.jp
毎月1回 6日発行
月40円/年間480円

あいち平和行進、準備本格化！
ー核兵器なくそう 憲法守り生かそうー

今年も核兵器廃絶と、8月に開催される広島・長崎での世界大会の成功を訴えながら全国を歩く「平和行進」が行われます。

5月に東京を出発し、広島をめざすコースは、5月30日に静岡県から愛知県に引き継ぎ、6月11日に岐阜県へと引き継ぐまでの13日間を「あいち平和行進」として県内を歩きます。今年は、静岡県からの引き継ぎが1日早くなり、例年よりもあいち平和行進の期間が1日多くなります。

戦後・被爆80年の節目の年となった昨年のあいち平和行進は、県内全ての自治体で平和行進を取り組み、大きな運動の前進をつくりだしてきました。今年も昨年同様に全ての自治体で取り組めるように準備を進めています。

平和行進は、核兵器廃絶の世論を築き、市民と自治体の共同をひろげ、核兵器禁止条約を実現する力を発揮してきました。その役割はますます重要になっています。

アメリカのトランプ大統領は、国連憲章も国際法もいらないと言って、ベネズエラへの軍事攻撃を行い、グリーンランドの領有を主張、イスラエルとともにイランを攻撃するなど、世界の平和秩序を破壊しています。

それに積極的に協力・加担しているのが高市首相はトランプ大統領に、防衛力の抜本的強化を約束し、総選挙で得た多数議席を背景に、憲法9条改悪、非核三原則の見直し、大軍拡など、戦争する国への暴走をいっそう加速しようとしています。世論と運動の力で、暴走を阻止し、憲法を活かした平和な日本、非核三原則を守り、核兵器禁止条約の参加する日本へと前進させるために、今年の平和行進を大きく成功させましょう。

昨年、被爆80年には、被爆者とともに被爆の実相をひろげ、署名を集め、草の根から核兵器禁止条約参加の世論を高めました。こうした力に、全国すべての市区町村で、「核兵器なくそう」「憲法を守り生かそう」「非核三原則を守ろう」「核兵器禁止条約に参加を」とよびかけ、圧倒的な市民、すべての自治体との対話と共同をひろげて被爆地広島、長崎をめざします。

全国通し行進者として、昨年に北海道～東京コースを歩いた三浦コト子さんが今年も全国通し行進者として歩くことを決意され、三浦さんの地元である尾張旭の新婦人から推薦状が届けられました。3月18日に開かれた国民平和行進愛知県実行委員会でも三浦さんの推薦を確認しました。

平和行進のなかで、被爆者の体験を聞く、また継承していくことも重要な取り組みとなっています。出発集会や途中の集会、プレ企画などで被爆体験を聞き、継承について考える機会を持ち、被爆者とともに平和行進を進めていきましょう。

核廃絶への大きな流れをつくるために、被爆者、核被害者の声を、愛知県内、全国、全世界にひろげ、次世代につなぐため青年、子育て世代への働きかけを圧倒的に強め、核兵器のない世界へとともに行動しましょう。

日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名

県内175，782筆

2026年3月10日　現在

↑2026年平和行進うちわ　←行進ペナント

2026あいち平和行進 日程(予定)

5月30日(土)静岡からの引継ぎ～桜丘高校/田原市
31日(日)奥三河(新城市・設楽町・豊根村・東栄町)/碧南市・高浜市 西尾市
6月 1日(月)豊橋市～豊川市～蒲郡市　幸田町
2日(火)岡崎市～安城市/みよし市・豊田市
3日(水)知立市～刈谷市/南区(ゆたか福祉会)
4日(木)知多地域
5日(金)瀬戸市～尾張旭市～守山区/日進市・長久手/豊明市・東郷町
6日(土)小牧市～春日井市/豊山町
7日(日)名古屋集中行進・ピースアクション
8日(月)岩倉市役所～千秋病院～一宮市～江南市/大口町
9日(火)津島市～愛西市～稲沢市/蟹江町/弥富市・飛島村
10日(水)名古屋市～清須市～北名古屋市/大治町～あま市
11日(木)扶桑町～犬山市・岐阜への引継ぎ

2026年世界大会の成功へ！
実行委員会総会で日程、よびかけを発表

3月13日、原水爆禁止世界大会実行委員会総会が開催され、2026年世界大会の日程と「世界大会開催のよびかけ」「世界大会成功をめざす運動」が発表されました。

今年は広島大会がメインとなり、8月3日（月）～4日（火）に国際会議、4日（火）～6日（木）に世界大会―広島、8日（土）～9日（日）に世界大会―長崎が開催されます。テーマは「被爆者とともに核兵器のない平和で公正な世界を―人類と地球の未来のために」です。

よびかけでは、アメリカ、イスラエル、ロシアの核保有国を中心として、国連憲章・国際法を蹂躙する無法な振る舞いが続いている中で、核兵器禁止条約の批准・署名国99か国に達し、未加盟国や保有国、核依存国の中でも条約に参加を求める世論と運動が広がっていると語り、非核平和の日本を実現するため、世界大会を最大の結集点として、被爆者とともに「非核日本キャンペーンⅡ」をはじめ、被爆証言会、原爆展、署名活動、自治体意見書決議の運動など草の根の行動を広げ、被爆の実相を広く伝え、核兵器廃絶の世論を築いていきましょう、と呼びかけました。

中学生・高校生・大学生が 刈谷・半田のフィールドワーク 戦争や平和「知ることが大切」

３月15日、愛知県高校生平和ゼミナールとあいち平和学生会議が共催で「依佐美送信所跡・半田空襲フィールドワーク」を開催しました。

中学生９名、高校生４名、大学生４名と援助者５名が参加し、マイクロバスで刈谷市の依佐美送信所跡、願行寺、半田市の中島飛行場跡、赤レンガ倉庫を見学し、お昼ご飯の後には新美南吉記念館といちご狩りを楽しみました。

刈谷市の依佐美送信所跡と願行寺では、刈谷市議の山本シモ子さんから依佐美送信所の歴史や事故で亡くなった子どもの話を聞きました。見学した中高生からは「当時は鉄塔の下に普通に畑や田んぼがあり、そこで普通の生活があったことに驚いた」「鉄塔が残っていることで、ここに来て戦争について知ることができる」などの感想がありました。

半田市では、中島飛行機と滑走路跡、赤レンガ倉庫に残る機銃掃射の跡を、半田空襲と戦争を記録する会の梶田稔さんに説明してもらいながら見学しました。赤レンガ倉庫でお昼ご飯を食べながら、梶田さんから新美南吉についても話しをしてもらい、戦争へ突き進む時代の中、南吉がどんな思いで童話や詩を書いたのか説明を聞きました。

その後、新美南吉記念館を見学し、いちご狩りに行き、制限時間いっぱいいちごを楽しみました。名古屋に帰るバスの中では、食べたいちごの数の発表と今日の感想を交流しました。

一日を通して、「初めて知ることばかりだった」「新美南吉の童話は知っていたけど、作者のことは知らなかったので知れてよかった」「平和について、戦争について知る機会があることは大切」「学校で習った戦後のことを、もっと深く知っていきたい」などの感想がありました。

ウクライナ戦争開始から4年 平和を求める切実な声

２０２２年２月24日に始まったロシアのウクライナ侵略は、終わりの見えないまま４年が経ちました。

２月23日にＪＵＣＡ（日本ウクライナ文化協会）がロシアのウクライナ侵略に抗議する集会とデモを栄・光の広場で行いました。集会・デモには、在日のウクライナ人、ウクライナからの避難民、支援者など１５０人が参加しました。

はじめにデモ行進を行い「ＳＴＯＰＷＡＲ！」「ウクライナに平和を」とコールしながら、栄の街を行進しました。

集会では、ウクライナの現状が語られ、平和への祈りが捧げられました。

日本に避難してきた方からは「平和とは単に戦闘が終わることではなく、全ての人が故郷に帰れること」と切実な願いが語られました。在日ウクライナ大使館からは、インフラが破壊され都市部では何十万人が攻撃の恐怖と暗闇、極寒の中にいると、ウクライナ国内の現状が語られました。

ＪＵＣＡからは、ウクライナへの支援物資や避難して東海圏に暮らしている人々への支援を行っていることが報告され、支援してくれているみなさんに感謝したいと話しました。

また、ロシアのウクライナ攻撃に抗議するために作られた市民団体「ＰｅａｃｅＦｏｒＵｋｒａｉｎｅ」も、攻撃が始まってから月に一度、抗議のスタンディングと人道支援募金活動を栄・久屋大通公園前で行っています。

11日の夕方からは、だまっちゃおれん！原発事故人権侵害訴訟・愛知岐阜が主催し、光の広場で集会とデモが行われました。集会でのスピーチでは、15年経った今も原発事故は終わっていないのにも関わらず、責任も取らずにもう終わったかのように原発の再稼働に舵を切る政府、国の姿勢に強い怒りの声があがりました。

東日本大震災、福島第一原発事故から15年 原発ゼロめざし、集会が開催される！

東日本大震災、福島第一原発事故から15年が経過しました。

３月８日、栄・矢場公園で原発ゼロＮＡＧＯＹＡＡＣＴＩＯＮが行われました。オープニングライブの後に集会が開かれ、被災地・原発問題に取り組む支援団体のスピーチがあり、原発なくす愛知の会は松田正久さんがスピーチを行いました。

東日本大震災が発生した午後２時46分には黙とうを捧げ、その後、アコーディオンとパーカッションのユニット「ヨルニナ」の演奏があり、中道改革連合、れいわ新選組、日本共産党、社民党からのスピーチと続きました。

集会後のデモ行進では、大須の街を歩き、サウンドカーとコールで脱原発のアピールをしました。

被災72年 2026年3・1ビキニデー集会の記録

本記録は、開会あいさつ、来賓あいさつ、広島・長崎両市長、日詰一幸静岡大学学長をはじめ、寄せられたメッセージ全文と、主催者報告を収録しています。

ビキニ事件当時、署名を自ら始めた杉村征郎さんの体験。焼津中央高校合唱部とうたごえの皆さんの合唱が聴ける二次元コード付き。 特別企画では、環境活動家の武本匡弘さんの報告、鼎談では海外代表と吉良よし子参議院議員らが語り合いました。関連企画として久保山愛吉氏墓前祭「誓いの言葉」、関連報告として日本原水協全国集会での安井正和日本原水協事務局長の基調報告と、海外代表の発言を掲載しています。

●3月31日発行、B5版、96ページ●頒価：700円（送料実費）

※注文は県原水協事務局まで